

人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス 「物質・物性評価横串サブグループ」参加メンバー公募のご案内

「人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミックアライアンス」の G1, G2, G3 グループを^{また}跨いだ共同研究を促進する「物質・物性評価横串サブグループ」への参加を公募します。

【活動内容】

「物質・物性評価横串サブグループ」へ応募された方々には、所属する G1, G2, G3 グループに加えて、今回新たに組織する物質・物性評価横串サブグループにも所属して頂くことになります。これにより、所属 G1, G2, G3 グループ以外の分科会等に出席し、各自の物質・物性評価法に関して説明や宣伝するための口頭発表を行う機会が設けられます。こうした活動により、G1, G2, G3 グループを跨いだ共同研究の立案や実施へ向けた機会を設け、ダイナミック・アライアンス活動の促進を図ります（横串活動：下図参照）。本年度はサブグループメンバーによる他の分科会出席のための旅費として、各研究所からの支援（10万円程度）を予定しています。

【背景】

現在、ダイナミック・アライアンスでは、G1（エレクトロニクス 物質・デバイス）、G2（環境エネルギー 物質・デバイス・プロセス）、G3（生命機能 物質・デバイス・システム）の3グループを組織して実行的な研究を実施しています。今回、これら3グループを横断的に繋ぐグループとして「物質・物性横串サブグループ」を公募により組織することにより G1, G2, G3 グループを跨いだ新たな共同研究を開拓し、アライアンス活動を更に活性化することを期待して実施することとなりました。

【サブグループ】

今回の公募では、(a)量子ビームによる物質・物性評価横串サブグループ、(b)時間分解物質・物性評価横串サブグループ、の2つのサブグループを予定しています。また、これに加えて皆様からの提案による物質・物性評価横串サブグループの立ち上げ・応募も歓迎します。積極的にご応募頂きますようお願い致します。

なお、上記(a)、(b)の2つのサブグループ内容として該当する物質・物性評価法の例を最後に示しています。



【応募方法】

応募方法は次のとおりです。

- (1) 応募先：アライアンス事業本部 宛てメールにて応募下さい。
NJRC * sanken.osaka-u.ac.jp （*を@に置き換えて下さい）
大阪大学産業科学研究所
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1
TEL:06-6879-4300 FAX:06-6879-8509

(2)応募方法:

参加希望の方は、①希望するサブグループ名、②応募者名(担当者名)、所属研究所名、所属(G1,G2,G3)グループ名、③ご自身が担当(研究を実施)している物質・物性評価法名、ならびに、④その物質・物性評価法の概要、共同研究条件・希望 をそれぞれ数行程度でまとめた上で(任意様式)、メール添付にて応募下さい。

今回組織する(a)または(b)以外の新たなサブグループを提案する場合には、そのサブグループ名(〇〇〇物質・物性評価横串サブグループ)に加え、上記①～④をまとめた参加希望者リストを添えて応募下さい。

(3)応募期間(締切): 2017年6月5日(月曜日)正午

【サブグループ活動の開始】

応募頂いた内容をまとめてサブグループ毎にメンバーリストを作成し、その上で各サブグループごとの世話役(代表者)数名を選出致します。これら情報についてはサブグループメンバーに加え、G1・G2・G3 の各グループリーダー、企画・推進リーダー、副リーダーに送付し、本年度の各分科会企画などに活用頂きます。

【公募サブグループに該当する物質・物性評価法の例】

(a) 量子ビームによる物質・物性評価横串サブグループ に該当する物質・物性評価法の例

- ・ X線の波動性を用いた高感度X線イメージング
- ・ コヒーレントX線を用いた物質深部のナノ構造解析
- ・ 原子分解能環境制御型電子顕微鏡
- ・ 放射光による物質の可視化 など

(b) 時間分解物質・物性評価横串サブグループ に該当する物質・物性評価法の例

- ・ フェムト秒電子ビームを用いた時間分解電子回折法・電子顕微鏡
- ・ 時間空間同時分解カソードルミネッセンス法
- ・ 発光寿命測定
- ・ 時間分解CL法 など

【問い合わせ】

アライアンス運営委員長

関野 徹 (産業科学研究所)・sekino*sanken.osaka-u.ac.jp

アライアンスコーディネーター

朝日 一 (産業科学研究所)・asahi*sanken.osaka-u.ac.jp

(*を@に置き換えて下さい)